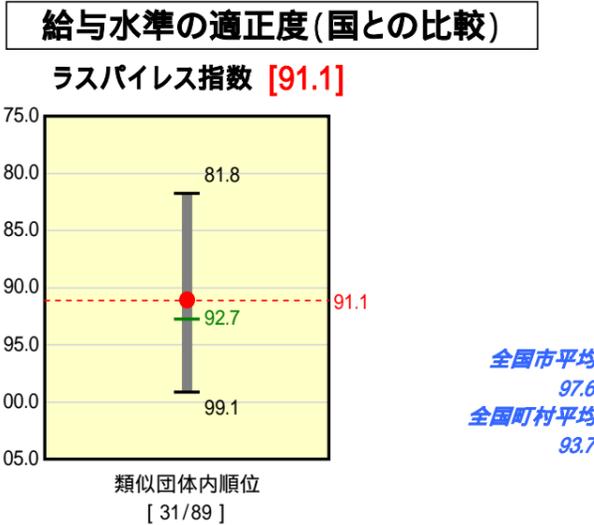
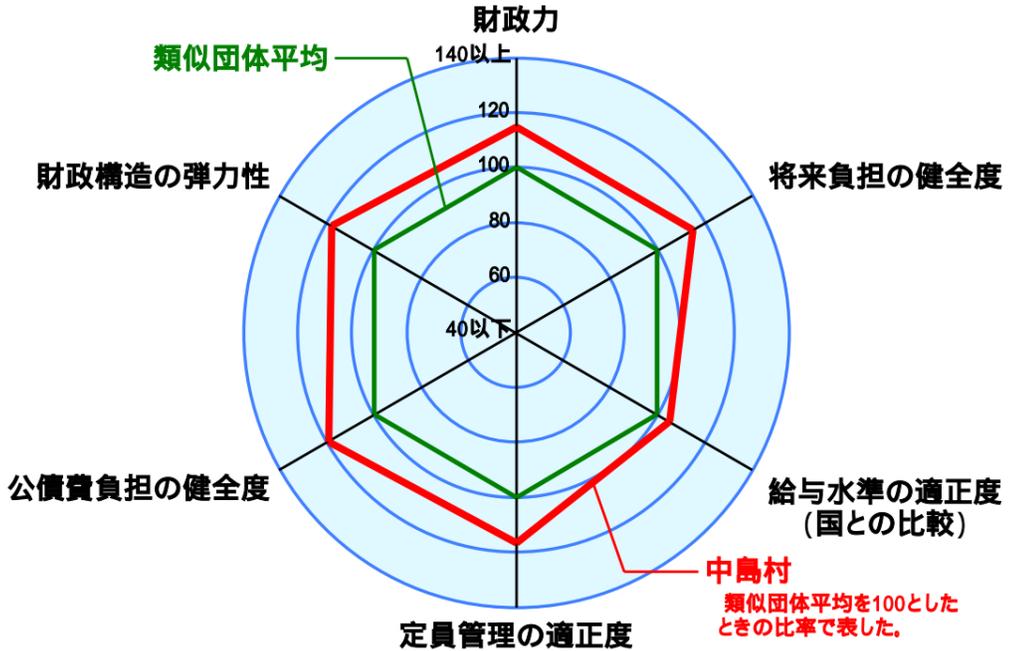
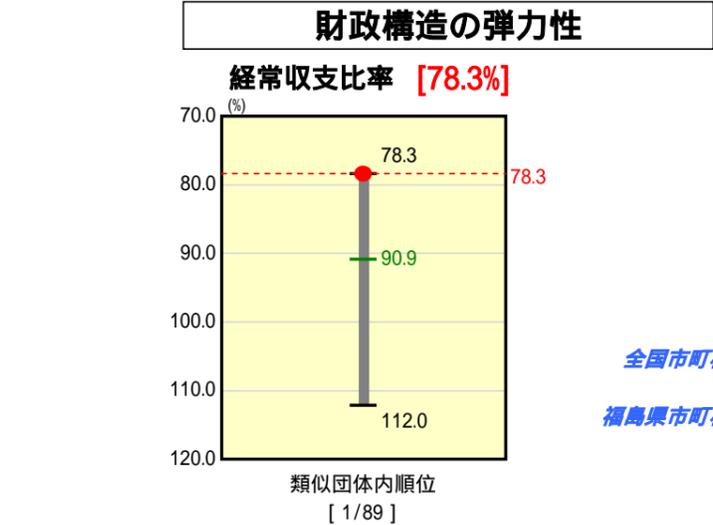
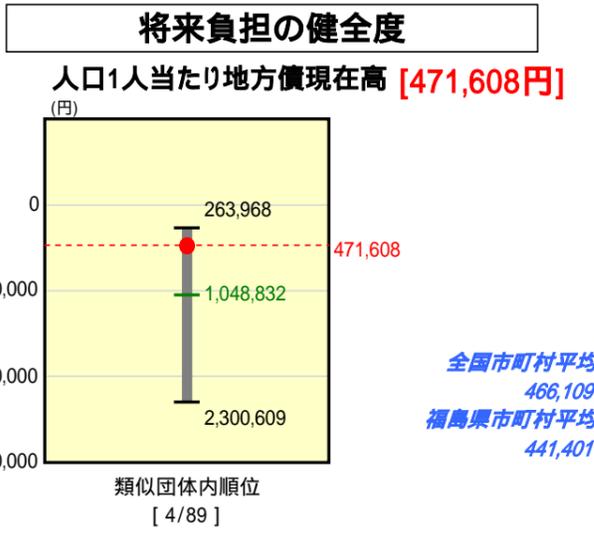
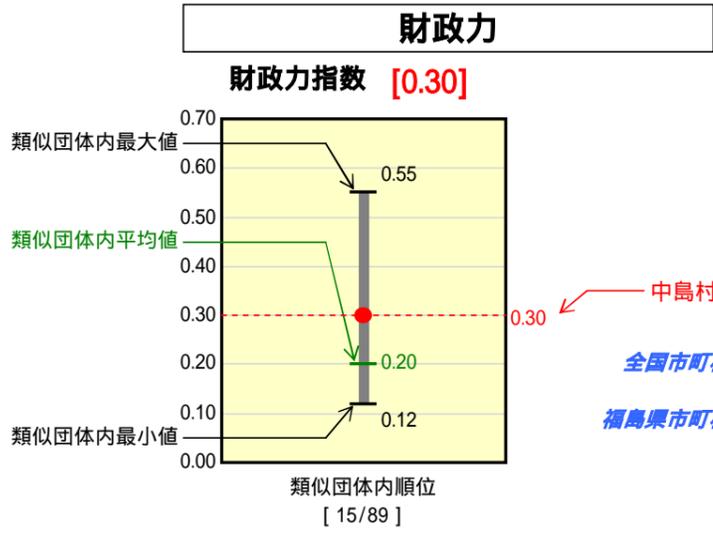


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 中島村

人口	5,470人(H17.3.31現在)
面積	18.91 km ²
歳入総額	2,623,371千円
歳出総額	2,466,769千円
実質収支	156,602千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数： 財政力指数は0.30と、類似団体平均を上回っている。今後も定員管理・給与の適正化等(平成17年以降の5年間で5人、7.5%減)による歳出削減を実施するとともに、村税の滞納額の圧縮などを通じて、財政基盤の強化に取り組む。

経常収支比率： 平成7年度から平成15年度まで剰余金を利用した繰上償還(781,281千円)を実施したことにより公債費が減少傾向にある。また平成14年度から実施している特別職等の給料カット(特別職10%、議員5%)(平成14年度以降の累計で9,836千円)と平成16年度に村単独補助金(対平成15年度比7,154千円)を削減したことにより類似団体平均を下回っているが、福祉関係経費(扶助費)が年々増加(平成14年度以降の2年間で41,327千円)していることから、全ての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業については計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

ラスパイレス指数： 平成12年度から平成16年度までの退職者7人、新採用4人と退職者補充が少なかったこと及び職員定数の15%以内の範囲で認められている特別昇給を行っていないことなどにより類似団体平均に比べ低水準にある。今後とも人事院勧告を尊重し給与の適正化に努める。

起債制限比率： 今年度は平成7年度・平成8年度に借入した減税補てん債の満期一括償還があったために、4.8%(前年度3.6%)とやや上昇したが、類似団体平均に比べると大きく下回っている。起債制限比率が低い要因としては、昭和30年代後半から昭和50年代前半にかけて実施した農業構造改善事業等の完了により村の約70%程度が整備されたため、近年は大

